

イラストで分かる！

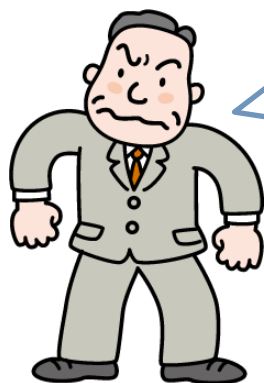
「在庫スイートクラウド」 社内検討の進め方



2016年06月

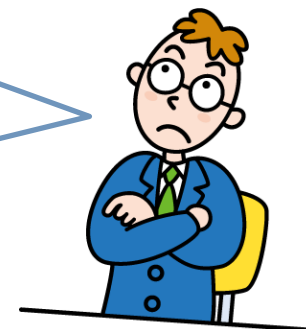
株式会社 インフュージョン

はじめに

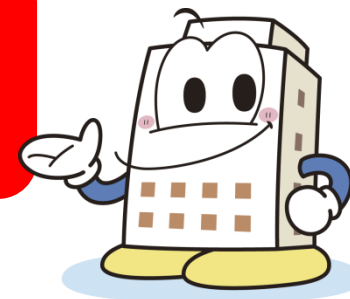


基幹システムがあるのに、
なぜ別の在庫管理システムを欲しが
るんだ！

確かに必要なんだけど、上手く説明出
来る自信がないなあ。
自分の中で整理出来てないのかな。



**決裁者・関係者の方に納得して頂く為には、的確な検討
準備が必要です。
本資料では、イラストを交えながら分かり易く紹介します。**



基幹システムでは対応できない事(1)

「基幹システム」は、その名の通り、売上や仕入、会計といった企業活動の基幹業務を処理するシステムです。

基幹システムの在庫管理機能も、販売・会計を軸に設計されています。入出庫といった倉庫業務はカバーされていない場合も多いのですが、それが認識されていないケースが目立ちます。

こうしたケースでは、カバーされていない点やそのデメリットを説明することが第一歩です。



基幹システムがあるのに、
なぜ別の在庫管理システムを欲しが
るんだ！



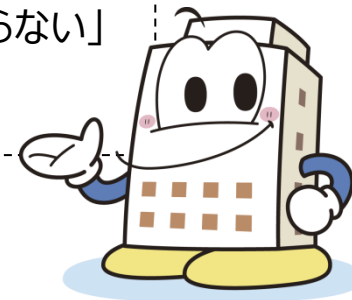
基幹システムの在庫管理はカバーしてい
ても倉庫業務をカバーしてません。
熟練者しか作業ができませんし、倉庫の
保管効率も悪くなっています。

基幹システムでは対応できない事(2)

先ほどの例は、基幹システムで在庫管理できているアイテムについて、関係者からよく出る疑問点と、その回答例でした。

在庫管理・倉庫業務の観点から見た、基幹システムへの不満は幾つもあります。

「現場でメモして、事務所で打ち込むので二度手間だ」
「常に在庫数がズレていて、現場に走って見に行っている」
「消耗品や販促物は、持ち出す度に入力していたら仕事にならない」
など。



次頁では、不満点と原因・主な対処法をまとめました。
参考にしながら、御社の基幹システムの不満点を明確にしましょう。
また、それに伴うデメリットも明らかにして下さい。

基幹システムでは対応できない事(3)

＜在庫管理・倉庫業務の観点からみた基幹システムへの不満と対応＞

| 基幹システムへの不満 | 原因 | 現場側の主な対応 |
|--------------------------|--|--|
| 正確に運用しても在庫が合わない | 出荷処理と売上処理のタイミングが違う (顧客側着荷時請求など) | 倉庫に行って、在庫数をチェックしている |
| | | 売上が未処理の出荷内容を別途管理し、差し引きしている |
| リアルタイムな運用が難しく 在庫が合わない | 入力が追いつかない | スタッフの増員 |
| | まとめて入力しないと工数がかかり過ぎる | 在庫のズレと工数とのトレードオフを関係部門と協議・調整 |
| | 現場で直接入力しづらい | 現場では納品書に結果を記入。 納品書を事務所に戻し、事務所で入力。 |
| 在庫管理をしていない | 受注／売上の管理だけで仕入は管理していない | エクセルなどで別管理 |
| | 資材／販促品などは管理対象外品または、決算時に棚卸を反映するだけ | エクセルなどで別管理 発注点割れを目視確認 |
| 必要な機能がない | 在庫のロケーション（棚番）管理が出来ない | エクセルなどで別管理 |
| | 固定ロケーションしか対応できず実態と合わない | エクセルなどで別管理 溢れた在庫の置き場所を、正式な置き場所にメモする |
| | ロットや入庫日、賞味期限で在庫を管理できない | エクセルなどで別管理 |
| | 入出荷作業はバイトの方にもお願いしているが、基幹システムに入力する権限を付与できない | 作業担当者とは別に入力担当者を配置する |

基幹システムによる倉庫業務対応の限界

倉庫業務は標準化しづらい業務です。

もっとも現場寄りのシステムであり、倉庫の広さ、アイテム、ラックの有無、荷姿、出庫頻度などで、システムに求められる要望は異なります。

基幹システムは全社共通システムであり、共通ルールで運用する仕組み。

各現場でルールの異なる倉庫業務まではカバーしないのが一般的です。

例え、カバーしていても、ピッタリとは合わず結局は補助管理されていることが殆ど。倉庫管理は各現場にあったシステムで運用するしかなく、一般的であることを説明しましょう。



なぜ、基幹システムは倉庫業務をカバーしていないんだ！

倉庫業務は現場によって作業ルールが変わるからです。



エクセルで充分なのは？

エクセルは表計算ツール。1つの表で扱えるデータ処理に向いています。
在庫管理は「在庫表」「入出荷一覧」など複数の異なる表を連携させて管理するもので、エクセル管理には向いていない業務です。

「入力したのに、誰かがデータを壊した」「コピーしたファイルに間違えて入力した」といったトラブルも起こりがち。

聞かれた際には、しっかりと無理な理由を説明して下さい。



基幹システムと両方に入力するの？

倉庫業務の改善に向けサブシステムの導入の意義はご理解頂けたと思いますが、
基幹システムとの二重入力を避けるにはどうするのでしょうか？

- 基幹システムに年に1・2度、棚卸数だけ反映させれば良いアイテム
棚卸データを連携させることで二重入力を避けます。
- 基幹システムで在庫管理を行っているアイテム
棚卸データの他に、日常の入出荷データを連携させることで不要な
二重入力を避けます。

2つのシステムに
入力するの？



棚卸や入出荷データを連
携させて、不要な二重入力
を避けます。



アイテム別データ連携イメージ図

基幹システム（全社統一）

補助
管理

製品・商品

組立部品・原料

保守部品

資材・消耗品

販促資料

棚卸 & 入出荷データ連携

棚卸データ連携

自社に適したシステムなの？(1)

適したシステムを確認するためには現状の「課題」をリストアップします。
各現場で、どんな課題を抱えているかを洗い出してください。

その後、課題とその対処法を確認します。

次頁に、主な課題と対処法、在庫スイートクラウドの対応機能をまとめました。



必要性は理解したよ。
どんなシステムになるの？

ヒアリングの結果、原料倉庫は保管場所が分からず作業が遅い点、目視だけなのでミスが減らない点が課題です。
ミス防止に向けバーコード検品を実施しますので「在庫スイートクラウドPro」となります。
月額費用は47,000円(税別)ですね。



自社に適したシステムなの？(2)

<主な課題とシステム対応一覧>

| 課題 | 機能 | 在庫スイートクラウド | |
|---------------------------|----------------------------------|------------|-----|
| | | Lite | Pro |
| 在庫を把握したい | 入出荷・棚卸登録 | ○ | ○ |
| 在庫の置き場所を知りたい。ムダな動きを減らしたい。 | ロケーション（棚番）別での在庫把握（フリーロケーション対応） | ○ | ○ |
| | モバイル機器を使った在庫の置き場所確認（ロケーション別在庫参照） | ○ | ○ |
| | ロケーション自動引当&ピッキングリスト発行 | × | ○ |
| ロットを記録したい | 製造ロットや使用期限・賞味期限、製造日などの日付別の在庫把握 | ○ | ○ |
| | 製造ロットや使用期限・賞味期限、製造日などの日付別の入出荷履歴 | ○ | ○ |
| 先入れ先出しを行いたい | 在庫データを確認し、先入れ先出しを実施 | ○ | ○ |
| | ロット自動引当&ピッキングリスト発行 | × | ○ |
| ミスを防ぎたい | 商品画像を表示させたい | ○ | ○ |
| | 入荷予定との実績照合（バーコード検品） | × | ○ |
| | 出荷指示・ピッキングリストとの実績照合（バーコード検品） | × | ○ |
| 現場で直接入力したい | バーコード・QRコード読み取り | ○ | ○ |
| | ハンディターミナル連携 | ○ | ○ |
| | スマートフォン連携 | ○ | ○ |
| 基幹システムとの二重入力を避けたい | 台帳（マスタ）の取り込み | ○ | ○ |
| | 入出荷、棚卸実績データの出力 | ○ | ○ |
| | 入荷予定の取り込み、出荷指示の取り込み | × | ○ |

投資と効果の判定

予想される効果も算出しておきましょう。

仮説で結構ですので、効果をできるだけ数値化 = 金額換算することで、多くの方が客観的に判断できます。

<在庫スイートクラウド導入の主な効果>

- 入荷のスピードアップ効果
- 出荷のスピードアップ効果
- 出荷ミス減少効果（ミス発生時のロスより換算）
- 循環棚卸の実施効果
- 一斉棚卸のスピードアップ効果
- 倉庫のスペース効率アップ効果（場所代）
- 作業の単純化・標準化効果（繁忙期のバイト対応など）
- 在庫の精度アップ・発注モレ

よく検討されていたね。
私も課題は感じていたよ。



導入事例(1)

最後に導入ユーザーの事例を紹介します。

このユーザーは、倉庫業務を外部委託から自社運用に切り替えられた際に導入頂きました。委託時より作業効率が170%向上。人件費換算で年間約500万円分の時間短縮となりました。

| 業種・業態 | 課題・対処法・効果 |
|----------|---|
| 美容品雑貨 EC | 【課題】 倉庫業務を外部委託していたが、費用が高い上、出荷ミスも多い。 |
| | 【対処法】 在庫スイートを導入し、自社運用に切り替えた。 |
| | 【効果】 委託先において25名体制で21時までかかっていた出荷が、自社スタッフ12名で18時半には完了しました。 物流サービスが向上した上に、人件費換算で年間約500万円のコスト削減が図れた。 |

改善効果がコスト削減の金額に
現れていますね。
効果算出の参考になります！



導入事例(2)

もう1件、事例を紹介しましょう。

物流会社様が荷主よりフリーロケーション運用を要請された際に導入頂きました。
結果として、約200坪のスペースが空きました。

| 業種・業態 | 課題・対処法・効果 |
|------------------------|--|
| <p>物流会社 自動車パーツ</p> | <p>【課題】 荷主からのフリーロケーションによる倉庫スペース圧縮要請がきた。</p> |
| | <p>【対処法】 在庫スイートを導入し、フリーロケーション運用に切り替え。 ハンディターミナルでロケーションと商品のバーコードを紐付けて登録。 フリーロケーション対応のピッキングリストを発行し迷わず出庫。</p> |
| | <p>【効果】 約200坪分のスペースが空いた。</p> |

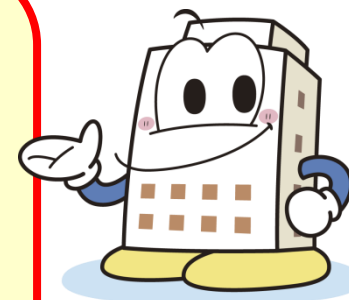


導入効果は時間短縮だけじゃないですね。スペースの有効活用や誤出荷防止、在庫の精度アップなども効果算出に盛り込めるか検討してみます。

最後に

社内提案・社内検討に向けた準備内容はイメージできたでしょうか？
準備作業についてのご相談も随時受けています。
お気軽にご連絡下さい。

株式会社インフュージョン
電話 045-472-0938
E-Mail trial@infusion.co.jp



デモブースも用意しています！

一日一社限定のデモブース(新横浜)にもお越し下さい！
プリンタやタブレット、バーコードなどが揃ったベストな環境のもと、御社の
事情に即した**改善提案**と、納得いくまで**デモ&打合せ**をさせていただきます。

デモブースのお申込みも同じです (火・木曜日 14:00スタート *1)
E-mail : trial@infusion.co.jp
Tel : 045-472-0938

*1 終了予定 17:00



<デモブース イメージ>